



2022年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 代表取締役社長執行役員 鍋割 宰
(コード番号 3205 東証・名証第一部)
問合せ先 執行役員 経理財務部長 白子田 圭一
(TEL : 03-3257-5022)

特別損失の計上、連結業績予想および配当予想（無配）に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期連結会計期間において、下記の通り特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、2021年11月10日に発表いたしました「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2022年3月期の連結業績予想および配当予想につきまして、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2021年10月19日発表の当社連結子会社における希望退職者の募集に伴って発生する費用として、2022年3月期第3四半期連結会計期間において、224百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上いたしました。

2. 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	24,900	△ 1,900	△ 1,700	△ 3,400	△ 103.96
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	17,299	△ 2,527	△ 2,204	△ 4,513	△ 138.62

3. 通期連結業績予想公表の理由

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が当社の連結業績に与える影響を合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予想等に基づき、公表することといたしました。

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は残ることを想定しておりますが、影響は緩やかに減少していく前提で、連結子会社が増えたこともあり、第4四半期連結会計期間の連結売上高は前年比63%増の約75億円、通期の連結売上高は前年比44%増の249億円と予想しております。既存の国内小売部門は、前年比で店舗数は減少しておりますが、今期は前期と同程度の春物衣料の売上高を見込んでおります。

仕入調整による在庫の適正化や販管費の抑制を進め、国内で希望退職者の募集を行うなど業績回復に努めておりますが、通期の連結業績は、営業損失19億円、親会社株主に帰属する当期純損失は34億円と予想しております。

4. 2022年3月期配当予想

	年間配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	—	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想			—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	0.00			
前 期 実 績 (2021年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

5. 配当予想公表の理由

2022年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が当社の連結業績に与える影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、上記の連結業績予想を踏まえ配当予想を公表することといたしました。

当社は、株主の皆様へ安定的・継続的な配当を行うことが必要と考えております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外で当社事業への影響が続いており、前期に比べて損失額は減少するものの今期も損失を計上する見込みであることから、手元流動性の確保を最優先し、経営の安定化を図ることが重要と判断し、誠に遺憾ながら2022年3月期は無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、業績の改善に向けて尽力してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、様々な要素により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上